

(報道資料)

体脂肪率計測で世界記録を樹立 荒川市民マラソンで2884人の計測を実現

2009年3月15日

株式会社タニタ

健康をはかるリーディングカンパニーである株式会社タニタ(東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里)は、本日開催された「2009東京・荒川市民マラソン in ITABASHI」で体脂肪率計測にかかわるギネス世界記録[®]を樹立しました。このイベントは、マラソン大会中の8時から16時までの8時間でどれだけ多くの体脂肪率計測を実現できるかというものです。11時10分にギネス世界記録[®]と認定される1000人の計測を達成、16時終了時の最終記録は2884人という結果となりました。

今回のイベントは、子どもからシニアまでさまざまな年齢層に自らのからだへの再認識と、これからの健康管理に反映してもらおうという狙いから企画しました。計測には、タニタの最新体組成計「インナースキャン50 BC-306」を12台使用。その結果、一般の参加者で18.1%、マラソン参加者で12.2%という平均体脂肪率となり、一般とマラソン参加者で5.9%もの差があることが分かりました。

タニタの特設ブースには、日ごろ気になる体脂肪率を計測しようとマラソン参加者のほかに多くの家族連れが詰めかけました。特設台に置かれた体組成計に乗り、表示された体脂肪率を確認すると、スタッフにその数値に対するアドバイスを求める参加者などが見受けられました。参加者には挑戦した証である「ギネス世界記録[®]参加証」などを贈りました。タニタでは「ギネス世界記録[®]への挑戦」という一つの目標をトリガーに、生活者に健康をはかることの重要性を身近に感じてもらえたと考えています。

「ギネス世界記録[®]」について

ギネス・ワールド・レコード社が発行する世界一の記録を集めた本です。1955年にイギリスで初版が発行されて以来、37の言語に翻訳され、100カ国以上で通算1億冊以上も売れています。ちなみに、この本自体が著作権のある本の中で、史上最高の販売数としてギネス世界記録[®]に認定されているほどです。身体計測にかかわる挑戦としては、これまでに血圧計測の認定記録はありますが、体脂肪率の計測は今回が世界初となります。

開催結果概要

【名称】switch!! カラダチェックでギネスに挑戦!

【内容】マラソン大会中にどれだけ多くの体脂肪率計測を実現できるか

【日時】2009年3月15日(日) 8:00~16:00

【場所】東京・荒川市民マラソン メーン会場内特設ブース(荒川戸田橋緑地野球場)

【ギネス世界記録?樹立】1000人/11:10

【最終記録結果】2884人/16:00

【平均体脂肪率】一般参加者18.1%、マラソン参加者12.2%



ギネス世界記録?を達成したタニタ特設ブースの様子(11時10分)